

国実女子部果敢な挑戦

男性社会の建築業界で大奮闘

国実通信

第51号
11月20日
発行

国実女子部

夏の残像を追う間もなく、
冷たい風が頬を撫でました。
秋は短く、冬は急足。
移ろう空の下、ふと立ち止まるこの瞬間に、
皆さまへの感謝を込めて、
今年最後のご挨拶を。



個性的な女子部のメンバー

建築業界は完全な男性社会。昨今女性進出の話題もよく見聞きするようになりました。

建築業界にいる女性たちは、棒倒しの砂を掻くように慎重に、居場所を確保していくのが精いっぱい。男性社会というてっぺんの棒はそう簡単に倒すわけにはいかないようです。

大手ゼネコンなどの会社案内では、ヘルメットをかぶった凛々しい表情の女性たちが明日に向かって指さしているパンフレットをよく見ます。

しかし実際にそのような管理者として現場を仕切るとなったら、それは逆に男性がしっかりとサポートしていかないと現場作業員としての女性の活躍は難しいのではないかと思います。

さらに言うなら、現場作業員としての女性活躍はフィジカル的にも安全面においても厳しいものがあります。

国実女子部は会社の無茶ぶりにも負けずに果敢に建築業界に挑戦し続けていきます。



国実女子部、現場にて。

国実女子部のご紹介

国実女子部とは、株式会社国実で働く女子社員たちのことです。今月より新メンバーを一名加え、六名体制となりました。現在男性社会である建築業界で奮闘しています。

① 女子が六名もいれば個性はさまざま。今回は個性的なメンバーの一部を紹介していきます。

② 世界で一番虫が嫌い！この世の虫どもを根絶やしにしたい。

③ この度保護猫を迎えることになりました。

④



50m走で10秒を切れず運動神経に見放されている。

新たな仲間が一名加わったことにより、平均年齢が多少上がったような気がします。本当にちよっとだけ。些事です。